

大igest

Tsukamoto Dai Digest



dai DAI通信 第20号

焼津市からバス3台で傍聴にお越し頂き、ありがとうございました。
地元の皆様の温かいご声援を頂きながら、一般質問をさせて頂くことが出来ました。



2月定例会 本会議

焼津市が抱える課題等 10項目の一般質問

自民改革会議

〈一般質問〉 塚本 大

本会議において、以下の内容を一般質問致しました。

- (1) 県都構想や特別自治市が実現した場合の他市町への影響について
- (2) 新幹線空港新駅の実現に向けた今後の取り組みについて
- (3) 富士山静岡空港周辺地域の利活用について
- (4) 看護職員の確保対策について
- (5) 駿河湾深層水の利活用について
- (6) 学校給食における地産地消について
- (7) 焼津市の海岸における津波対策について
- (8) 志太榛原地区の美農里プロジェクトについて
- (9) 二級河川瀬戸川の親水公園について
- (10) 県道大富藤枝線の整備について

当初予算案を修正

県民の声を新年度予算に反映

静岡県議会2月定例会（3月17日閉会）では「平成28年度静岡県一般会計予算」及び「平成27年度静岡県一般会計補正予算」について審議致しました。

今回の当初予算、補正予算には、TPP対策をはじめとした農林水産業の振興、ラグビーワールドカップや東京オリンピック・パラリンピックに向けたスポーツ施策の強化、人口減少対策、道路や河川等の身近な生活環境の整備、市町が行う地震・津波対策に対する支援の充実等が盛り込まれております。

昨年12月に申し入れた我が会派の要望に概ね応えたものになっており、全体としては評価出来るものであります。その為、一部修正はしましたが、可決致しました。（修正部分については、4ページ参照）

今定例会では「消防団の活動に協力する事業所等」を応援する県税の特例に関する条例の一部を改正する条例」についても審議致しました。

この条例の施行により、消防団協力事業所の認定件数は、条例施行後の平成24年4月の159件から、平成27年4月現在で507件と3.2倍に増加し、全国の順位も20位から4位になりました。消防団員数は減少傾向にありますが、減少率は鈍化しており、条例の効果が着実に現れ始めております。今後も、消防団員の確保に向けて、消防団活動に協力する事業所等への支援を更に充実していく必要があります。

塚本 大 一般質問 (4)看護職員の確保対策について

【質問要旨】
先日、病院を視察し、現場で働く看護職員の生の声を聞くことが出来た。現場の看護職員達が感じている職員数の不足感は大きい。

こうした状況の改善には、看護職員がリタイアすることなく働き続けられる職場環境づくりをはじめ、一旦離職した者が現場復帰する為の支援や、昨年10月から始まった、看護職員が離職等をする際の届出制度を活用して再就業を支援していくこと等が必要と考える。

県は今後どのように看護職員確保対策を推進していくのか伺う。

【健康福祉部長 答弁】

県では、看護学生への修学資金貸与や養成所への財政的支援等により、県内で働く看護職員の確保を図っております。今後、一層の看護職員を確保していく為には、離職防止に向けた職場環境づくりや再就業支援も積極的に取り組むことが重要であります。

職場環境づくりにつきましては、新人看護職員が早期に臨床実践能力を獲得する為の研修を行う病院に対する助成や、医療機関が自ら行う勤務環境改善の実効性を高める為、労務や医業経営の専門家を派遣し、指導や助言を行う等、看護職員がやりがいを感じつつ働き続けられる環境づくりを推進しております。

再就業支援につきましては、離職理由や再就業の意向等、個々の状況を踏まえ、希望にあった求人や看護技術に関する研修会開催の情報を提供する等、一旦離職した方が早期に現場復帰出来るように、継続的な支援を行って参ります。



以前、大igestにも掲載した「自民党看護を考える議員連盟視察を踏まえ、看護職員の人材確保と勤務環境改善の必要性を訴える！」

※「大igest第20号」は、平成28年2月定例会を基準に作成されています。
(昨年度=平成26年度、今年度・本年度=平成27年度、来年度=平成28年度)



傍聴席の様子



傍聴にお越し頂いた皆様のお礼の挨拶をしている様子



第一善生丸竣工祝賀会

2月27日に、善生丸漁業生産組合のサバ漁船・第一善生丸が披露され、竣工祝賀会に出席させて頂きました。第一善生丸は、水産庁の「もうかる漁業創設支援事業」を活用して建造され、県もその計画策定を支援して参りました。今後も、国・県・市と連携を図りながら、焼津市の基幹産業であります漁業・水産業発展の為に努力して参ります。

第一善生丸を披露

県内の多彩で豊富な食材を広域的に学校給食に活用していく為には、工夫や努力が必要であると考えております。例えば、小笠地区や富士地区では、献立作成や食材調達を担う栄養教諭等が、地元のJAや農林事務所で作成した農産物カレンダー等を活用し、市の枠を超えて広域的に地産地消に取り組んでいます。

第一善生丸を披露

県教育委員会と致しましては、栄養教諭等の研修会において、このような優良事例について情報発信していくとともに、こうした地場産物の調達可能な数量や時期、調達方法等の情報共有に努め、様々な手法により地産地消を更に推進するよう、生産者や関係団体、経済産業部等と連携し、積極的に取り組んで参ります。

第一善生丸を披露

そこで、「学校給食における地産地消」を、市町の枠を超えて広域的に推進する為に、県教育委員会としてどのように取り組んでいくのか、教育長の所見を伺う。

第一善生丸を披露

【質問要旨】 本県では400品目を超える豊かで多彩な農作物や魚介類等が生産、水揚げされている食材の宝庫であり、これらを学校給食に積極的に活用することは、県内農林水産業の振興につながるものと考えます。

第一善生丸を披露

【教育長 答弁】 県内の多彩で豊富な食材を広域的に学校給食に活用していく為には、工夫や努力が必要であると考えております。例えば、小笠地区や富士地区では、献立作成や食材調達を担う栄養教諭等が、地元のJAや農林事務所で作成した農産物カレンダー等を活用し、市の枠を超えて広域的に地産地消に取り組んでいます。

第一善生丸を披露

【質問要旨】 二級河川瀬戸川は焼津市保福島地区においては、今までも、機会あるごとに河床土砂の浚渫が行われ、遊歩道の整備も進められてきた。次は、河川整備計画に掲載されている「親水公園整備の早期実現を」との地元住民の思いは強い。

静岡県議会において過半数の議員が所属する会派だからこそ出来る 積極的な財政当局との予算折衝！ 新年度予算に県民の声を反映！！

平成28年度当初予算編成

去る2月22日、県当局から、「平成28年度一般会計当初予算案」が県議会に提出され、25日間の審議を経て、一部（遠州灘海浜公園（篠原地区）基本計画策定事業費）を減額修正した上で、3月17日に可決・成立致しました。私が所属しております自民改革会議では、当初予算の編成に際して、県民の声を県当局に届け、予算に反映出来るよう努めて参りました。

平成28年度当初予算の編成作業は、昨年10月に、財政を所管する経営管理部長が予算編成要領*1を各部署に通知してスタート致しました。自民改革会議としては、県内に67ある自民党市町支部からの要望や各団体からの聞き取り調査をもとに、県民の求める重点要望を7項目の予算要望としてとりまとめ、昨年12月に、知事に申し入れを行いました。（大ジェスト第19号に掲載。詳しい内容はホームページをご覧ください。）

予算編成が終盤にさしかかった1月下旬には、県当局と数回にわたり、会派として独自に予算折衝を行いました。県民からの要望の多い「道路や河川、信号機等の身近な生活環境を整備する為の予算（生活環境関連事業）」につきましては、予算折衝前は、厳しい財政状況の影響で、対前年度比7%減の297億円となっていました。しかし、我が会派としては、県民の声を必ず新年度予算に反映させるという強い決意で予算折衝に臨み、前年度同額の320億円を確保しました。（平成26年度以前は毎年300億円、平成27年度から我が会派念願の増額を実現！）

また、2020年の東京オリンピックに向けて、自転車競技の会場となる「伊豆ベロドローム」までのアクセス道路を整備する予算につきましても、予算折衝の序盤では、生活環境関連事業320億円の中にも含む案も示されましたが、最終的には別枠として、4年間の全体事業費35.5億円も新たに確保致しました。その他にも、私立学校に対する助成や文化財保存・管理費の充実、市町に対する緊急地震・津波対策交付金の継続、消防団条例に基づく事業費削減措置の拡充等も実現致しました。今後も、県民の声を県政に届け、予算の確保に努めて参ります。

塚本 大 一般質問 (2)新幹線空港新駅の実現に向けた今後の取り組みについて

【質問要旨】 知事は、平成26年6月議会の答弁において、「新幹線空港新駅は、富士山静岡空港の機能を高め、国の防災機能強化、東京オリンピック・パラリンピック等の国家イベント等に寄与するとともに、早期実現を国に働き掛けて参りたい」と述べられた。そこで、4年後に迫る東京オリンピック・パラリンピック開催までに新幹線空港新駅を実現する為、今後どのように取り組むのか伺う。

【知事 答弁】

事業者であるJR東海の理解が得られ次第、具体的な協議に入れるように、本年度は、トンネル技術の粋を極めた専門家からなる技術検討委員会によりまして、検討を進めて頂き、先月、新幹線空港新駅が技術的に施工可能であるという結果を得たところでございます。この技術検討成果をJR東海に御説明申し上げるとともに、あらゆる機会を通じて、JR東海に対し、粘り強く働きかけを行いたいと思っております。県と致しましては、引き続き、県議会の皆様の御協力を頂きながら、2020年の東京オリンピック・パラリンピックの開催に合わせた新幹線空港新駅の実現を目指して参りたいと考えております。

塚本 大 一般質問 (8)志太椋原地区の美農里(みのり)プロジェクトについて

【質問要旨】 静岡県では、地域住民が農地や農業用施設の保全活動に取り組む美農里プロジェクトを進めている。焼津市内においても、現在4つの地域において、農道や水路の維持管理、子ども達の農業体験、花の栽培等の景観形成活動が行われ、他の地域でも新たに取り組みを始めようとしている。しかし、参加する地元住民全員が活動の目的・内容等をよく理解して取り組まなければ、活動が長く続かなかつたり、役員の交替等を契機に活動が低調になったり、あるいは途中で頓挫してしまったりすることが起こりうるのではないかと懸念している。私は、美農里プロジェクトの活動を広げ、根付いたものとする為には、住民等に活動の趣旨をよく理解してもらい、また、団体に対してはその活動を継続する為の支援が必要であると思っている。県はこの美農里プロジェクトを今後どのように取り組んでいくつもりか伺う。

【交通基盤部長 答弁】

今後、この活動を継続・発展させていく為には、参加する農業者、非農業者、自治会、子供会等の個人や団体が一緒に、当該地域の営農や景観等のあるべき姿について共通認識を醸成することが必要であります。この為、活動組織に対して、地域の将来を話し合う場の設置や活動計画の作成への助言、保全管理の技術や取り組み事例の紹介、土地改良区や農協等への会計事務等の委託による負担軽減の提案等により支援を行うとともに、県民の皆様に対しては、本施策の趣旨、必要性を理解してもらえよう、分かりやすいパンフレット等により普及啓発に努めて参ります。県と致しましては、美農里プロジェクトの継続的な活動を支援することにより、地域の農業を守り、誰もが活力あふれる農村づくりを推進して参ります。

【交通基盤部長 答弁】

今後、この活動を継続・発展させていく為には、参加する農業者、非農業者、自治会、子供会等の個人や団体が一緒に、当該地域の営農や景観等のあるべき姿について共通認識を醸成することが必要であります。この為、活動組織に対して、地域の将来を話し合う場の設置や活動計画の作成への助言、保全管理の技術や取り組み事例の紹介、土地改良区や農協等への会計事務等の委託による負担軽減の提案等により支援を行うとともに、県民の皆様に対しては、本施策の趣旨、必要性を理解してもらえよう、分かりやすいパンフレット等により普及啓発に努めて参ります。県と致しましては、美農里プロジェクトの継続的な活動を支援することにより、地域の農業を守り、誰もが活力あふれる農村づくりを推進して参ります。

平成28年度からは、こう変わる!!

区分	主な拡充内容	
	27年度	28年度
空き家等対策推進事業費(新規)	▲空き家に関するワンストップ広域相談会を開催	
富士山静岡空港機能強化・魅力向上事業費	(H27空港新運営体制構築事業費)ターミナルビル改修、増築の設計	●ターミナルビル改修、増築(H30完成) ●空港ターミナル地区西側の設計、造成ほか
生活困窮者自立支援事業費	●支援員養成伝達研修の実施(新規) ●生活保護システム改修(新規) ●宿舎形式の就労支援セミナーの実施(新規)	
認知症総合対策推進事業費	●若年性認知症相談窓口の設置(新規) ●介護職員等に対する認知症介護基礎研修(新規)	
介護人材育成事業費(新規)	介護の資格を持たない者に対する介護職員として必要な知識等を習得する研修、介護事業所での実務経験による新規就業促進	
保育士修学資金等貸付事業費助成	●保育士資格取得を目指す学生の修学や潜在保育士の保育所復帰等に係る経費の貸付	

【対象】 資本金の額又は出資金の額が1億円以下の法人と個人
【控除限度額】 事業税額の1/2に相当する額(10万円限度)
【適用期間】 平成28年3月31日までに事業年度が終了する法人及び平成27年までの個人の事業税に適用

【対象】 左記に出資金1億円超の特別法人を追加
【控除限度額】 同左(100万円を限度)
【適用期間】 法人、個人とも3年延長

【対象】 資本金の額又は出資金の額が1億円以下の法人と個人
【控除限度額】 事業税額の1/2に相当する額(10万円限度)
【適用期間】 平成28年3月31日までに事業年度が終了する法人及び平成27年までの個人の事業税に適用

平成28年度からは、こう変わる!!

区分	主な拡充内容	
	27年度	28年度
空き家等対策推進事業費(新規)	▲空き家に関するワンストップ広域相談会を開催	
富士山静岡空港機能強化・魅力向上事業費	(H27空港新運営体制構築事業費)ターミナルビル改修、増築の設計	●ターミナルビル改修、増築(H30完成) ●空港ターミナル地区西側の設計、造成ほか
生活困窮者自立支援事業費	●支援員養成伝達研修の実施(新規) ●生活保護システム改修(新規) ●宿舎形式の就労支援セミナーの実施(新規)	
認知症総合対策推進事業費	●若年性認知症相談窓口の設置(新規) ●介護職員等に対する認知症介護基礎研修(新規)	
介護人材育成事業費(新規)	介護の資格を持たない者に対する介護職員として必要な知識等を習得する研修、介護事業所での実務経験による新規就業促進	
保育士修学資金等貸付事業費助成	●保育士資格取得を目指す学生の修学や潜在保育士の保育所復帰等に係る経費の貸付	

【対象】 資本金の額又は出資金の額が1億円以下の法人と個人
【控除限度額】 事業税額の1/2に相当する額(10万円限度)
【適用期間】 平成28年3月31日までに事業年度が終了する法人及び平成27年までの個人の事業税に適用

【対象】 左記に出資金1億円超の特別法人を追加
【控除限度額】 同左(100万円を限度)
【適用期間】 法人、個人とも3年延長

【対象】 資本金の額又は出資金の額が1億円以下の法人と個人
【控除限度額】 事業税額の1/2に相当する額(10万円限度)
【適用期間】 平成28年3月31日までに事業年度が終了する法人及び平成27年までの個人の事業税に適用

塚本 大 一般質問 (9)二級河川瀬戸川の親水公園について

【質問要旨】 二級河川瀬戸川は焼津市保福島地区においては、今までも、機会あるごとに河床土砂の浚渫が行われ、遊歩道の整備も進められてきた。次は、河川整備計画に掲載されている「親水公園整備の早期実現を」との地元住民の思いは強い。

【質問要旨】 二級河川瀬戸川は焼津市保福島地区においては、今までも、機会あるごとに河床土砂の浚渫が行われ、遊歩道の整備も進められてきた。次は、河川整備計画に掲載されている「親水公園整備の早期実現を」との地元住民の思いは強い。

【質問要旨】 二級河川瀬戸川は焼津市保福島地区においては、今までも、機会あるごとに河床土砂の浚渫が行われ、遊歩道の整備も進められてきた。次は、河川整備計画に掲載されている「親水公園整備の早期実現を」との地元住民の思いは強い。

【質問要旨】 二級河川瀬戸川は焼津市保福島地区においては、今までも、機会あるごとに河床土砂の浚渫が行われ、遊歩道の整備も進められてきた。次は、河川整備計画に掲載されている「親水公園整備の早期実現を」との地元住民の思いは強い。

【質問要旨】 二級河川瀬戸川は焼津市保福島地区においては、今までも、機会あるごとに河床土砂の浚渫が行われ、遊歩道の整備も進められてきた。次は、

2016 May

〈発行日〉平成28年5月1日

〈発行所〉

〒425-0062

静岡県焼津市中根新田1157

TEL.054-624-1555

FAX.054-624-1333

〈発行人〉塚本 大



静岡県議会議員

つかもと大

県政報告

Tsukamoto Dai

【当初予算案】修正の理由

修正部分

「遠州灘海浜公園（篠原地区）基本計画策定事業費」

当局が提出した原案には、3点の課題があります。

①浜松市篠原地区に県営野球場を整備することについて、浜松市民、野球関係者の意見集約が図られていないこと。

②県は、この野球場に防災機能も兼ね備えると言っているが、県と浜松市の防災機能に対する負担のあり方について、調整がとれていないこと。

③県は、整備の時期を東京オリンピック・パラリンピックの開催にあわせていることが最良と言っているが、大会開催に合

わせて整備する必要性は乏しいこと。

※1 3月2日には、浜松市議会の自由民主党浜松から、知事あてに、篠原地区への野球場建設について、地元の理解が得られていない等として、市民や県民の意見を十分に踏まえて建設すること等を求める要望書が提出されました。

3月11日には、浜松市議会建設消防委員会に、用地取得に向けた調査費2千770万円を減額する修正案が提出され、同日に、可決されており、市民、県民の理解が得られているとこのことは出来ません。

※2 東京オリンピックに向けて、建設需要が高まり、資材高騰等が生じる可能性があります。野球競技がオ

市議会議員時代から力を入れて取り組んできた大井川焼津藤枝スマートインターチェンジが完成

東名高速道路焼津・吉田間に新しいインターチェンジが完成し、3月12日に記念式典が行われ、同日から供用開始となりました。このインターチェンジの開通により東名の利便性が向上し、産業の活性化や交通渋滞の緩和、救急搬送時間の短縮等、さまざまな効果が期待されます。今後は、大井川焼津藤枝スマートインターチェンジの利用促進を図り、志太地域の発展に努めて参ります。



塚本大 一般質問 (10) 県道大富藤枝線の整備について

【質問要旨】 この路線の沿道には、商業施設や郵便局が存在し、これら施設を利用する車両と歩行者で混雑が見られ、危険な状況である。

本路線では、県により順次整備が進められているものの、一部未整備の区間がある。この区間については、昨年、地元自治会から島田土木事務所に要望書も提出されており、安全確保の為に、早急な整備が必要であると考える。

そこで、焼津市内における当路線の整備について、今後どのように取り組んでいくのか伺う。

【交通基盤部長 答弁】

大住地内の約50m区間については、平成28年度の完成を目標に歩道の整備を進めているところであります。

また、中新田地内の約300m区間については、今年度から事業着手準備制度を利用して、拡幅に向けた地元住民の皆様との意見交換会を焼津市とともにっており、合意が得られた段階で事業を実施する予定であります。

県と致しましては、引き続き焼津市等関係機関と連携し、県道大富藤枝線の整備を進め、誰もが安全・安心して利用出来る交通環境の改善に努めて参ります。

塚本大 一般質問 (7) 焼津市の海岸における津波対策について

【質問要旨】 焼津市の沿岸部は、県が管理者の焼津漁港海岸及び焼津田尻海岸、国土交通省が直轄事業で整備を行う駿河海岸、焼津市が管理者の大井川港海岸等、それぞれが津波対策を進めている。

事業主体が異なっても、同じ焼津市の中にある以上、焼津漁港と大井川港に挟まれた一連の海岸では、レベル1を超える津波に対して、同じ手法で施設整備を行い、安全性を高めることが重要であると考えているが、県の所見を伺う。

【交通基盤部長 答弁】

この一連の海岸施設については、国が今月設置する海岸の専門家等からなる委員会において、具体的な構造等の検討が進められることから、この検討結果を踏まえ、国、県、焼津市で構成する静岡モデル推進検討会において、関係者の合意形成や役割分担の調整を進め、整備の推進を図って参ります。また、地域住民の皆様に対しましては、広報誌や地元説明会の開催等により、施設整備の内容や減災効果、事業の進捗状況等について適切に情報提供を行って参ります。

県と致しましては、焼津漁港から大井川港までの海岸において、引き続き国及び焼津市と連携して、レベル1を超える津波に対する施設整備を推進し、安全で安心して暮らせる地震・津波に強い県土づくりに努めて参ります。

地元住民の合意が得られた段階で事業を実施

平成28年度に歩道整備

大住地内の約50m区間
中新田地内の約300m区間

私が所属している 自民改革会議の考え
県営野球場のない西部地区に、県営野球場を建設することは不自然です。

球場があります。ただ、野球場の建設については、多くの県民の理解

を得た上で整備に着手し、県民誰もが作ってよかったという野球場になるよう、慎重に議論を進めるべきと考えます。

静岡県内には、自民党の市町支部が67あり、常に、それぞれの地域の実情を教えて頂いております。また、県内の市町議会には、連携をとっている議員が大勢います。今後も皆さんと連携を取りながら、地域の声をきちんと県政に反映して参ります。

必要な事業に
適正な予算措置



次回、大ジェスト発行のお知らせ

第21号は、平成28年8月(日)には未定、新聞折込み予定です。



静岡県議会議員

つかもと大 事務所のご案内

〒425-0062 焼津市中根新田1157

TEL 054-624-1555 FAX 054-624-1333

E-mail tsukamoto-dai@almond.ocn.ne.jp

http://tsukamoto-dai.com



QRコードを使って
ダウンロード